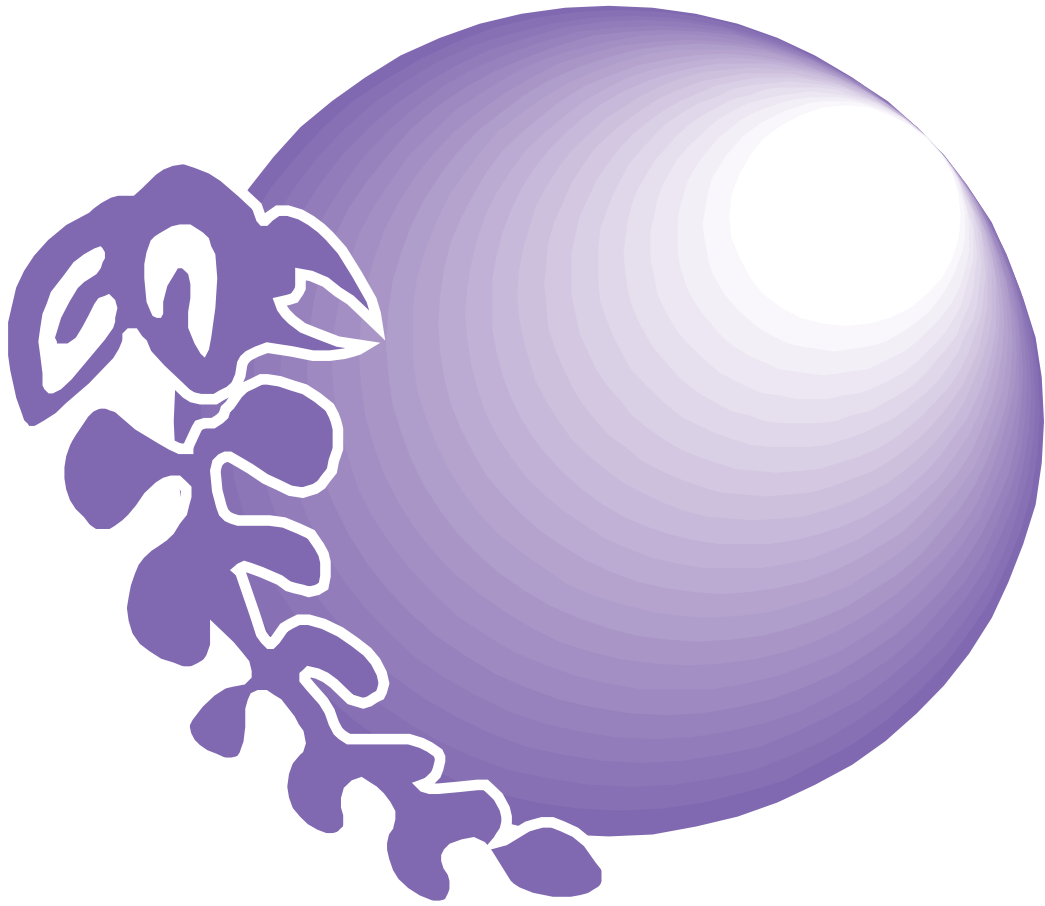


令和5年度

事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

令和5年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	5
1-5 学校法人組織機構図	8
2 事業の概要	
2-1 入学試験の状況	9
2-2 卒業者数、修了者数	10
2-3 大学院開設	10
2-4 トピックス	10
2-5 施設設備	16
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	17
3-2 事業活動収支計算の推移	25
3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ	26
3-4 財務比率の推移	28
3-5 資金収支計算書	29
3-6 資金収支計算書 収入の部	29
3-7 資金収支計算書 支出の部	29
3-8 活動区分資金収支計算書	29
3-9 事業活動収支計算書	30
3-10 貸借対照表	30
3-11 監査報告書	31

理事長挨拶

学園理事長 須藤賢一（農学博士）

■ 略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長
- ・高崎市緊急創生会議委員長
- ・高崎映画祭運営委員長
- ・公益財団法人高崎財団理事



新たな価値を生み出すために大切なのは「人間力」

人工知能やロボットの技術革新により人々の生活が豊かで便利になる社会 (Society 5.0) はすぐそこに迫っています。全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない価値やサービスを生み出します。これからの社会で新たな価値を生み出すために私たちが養うべきもの、それは人間にしか持ち得ない課題発見・問題解決能力であり、コミュニケーション能力です。

この新たな社会システムでは、就業形態も今とは大きく変化し、職業によっては消滅せざるを得なくなるかもしれません。

高崎健康福祉大学は2001年に開学した若い大学ではありますが、これまで取り組んできた、「食と農」、「医療技術と福祉」、「薬学」、「保育と教育」、そして「医療と情報」などはどんな時代でも私たちの生活に欠かせないものです。

そして、これらは高崎健康福祉大学が開学以来掲げてきた「自利利他」の精神とも一致します。一人ひとりが社会のため、人のために何ができるかを考え、実践する。Society5.0の社会で求められる「人間力」の本質はここにあります。

高崎健康福祉大学は、5学部8学科を擁する総合大学です。これから大学の門を叩く高校生の皆さんにはぜひ、これらの領域で新たな切り口を追求し、どんな時代においても社会の発展や人々に貢献できる「人間力」をここで身につけて下さい。そして、次世代の社会を支えていく人材へと成長することを願っています。

「Society5.0」とは

狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0)、情報社会 (Society4.0) に続く、新たな社会を指すもので、内閣府の「第5期科学技術基本計画」においてわが国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

～高崎健康福祉大学HPより～

1 法人の概要

1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総体的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

幼稚園は学校教育法に従って幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

*現員数は令和5年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学収容 定員(人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	2	—	—	6	3
	保健福祉学専攻		3	1	—	—	6	2
	食品栄養学専攻		4	3	—	—	8	4
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	0	—	—	9	4
	食品栄養学専攻		2	2	—	—	6	4
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	12	6
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	6	—	—	12	12
	理学療法学専攻		3	3	—	—	6	7
	農学研究科(修士) 生物生産学専攻	令和4年度	4	5	—	—	4	5
	農学研究科(博士) 生物生産学専攻	令和4年度	2	1	—	—	4	2
	計		33	24	—	—	73	49
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	80	84	—	—	290	325
	社会福祉学科		75	80	—	—	255	320
	健康栄養学科		80	81	—	—	320	340
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	102	—	—	540	568
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	112	—	—	400	421
	理学療法学科		40	50	—	—	160	193
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	99	—	—	320	373
	農学部 生物生産学科	令和元年度	75	88	—	—	375	331
	計		620	696	—	—	2,660	2,871
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日課程	昭和43年度	460	456	—	—	1,380	1,307
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	74	—	—	360	237

1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	進学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止

平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部に変更、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設
平成27年	4月1日	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開設
平成27年	7月	高崎健康福祉大学看護実践開発センター開設
平成28年	6月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(認知症看護)開講
平成30年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻修士課程を開学
平成30年	8月31日	高崎健康福祉大学農学部生物生産学科を設置認可、平成31年4月1日開学
平成31年	4月	高崎健康福祉大学女性・妊産婦ケアステーションを廃止
令和3年	9月3日	高崎健康福祉大学大学院農学研究科生物学専攻博士前期課程、同専攻博士後期課程を設置認可、令和4年4月1日開学
令和3年	10月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター特定行為研修課程開講
令和4年	4月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(感染管理)開講

・評議員(任期4年) 定数 23~30人 常勤 15人
 非常勤 11人
 合計 26人

令和5年5月1日現在

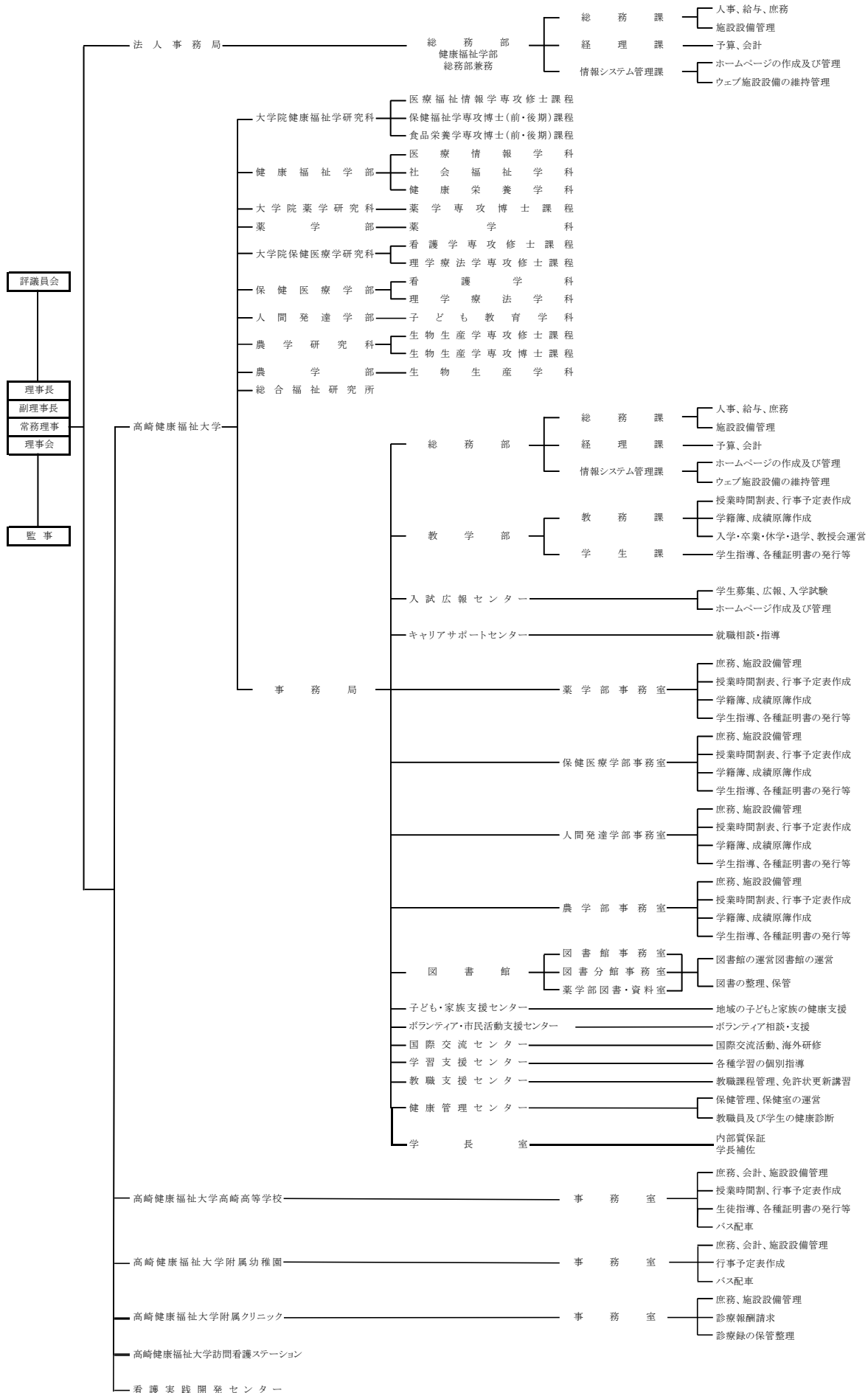
氏名	常勤・非常勤の別	選任区分等		就任年月日 (重任年月日)
		項又は号	選任区分	
須藤 賢一	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H2.2.6 (R5.4.1)
磯貝 昭夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.3.30 (R5.4.1)
須藤 領久	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H18.4.1 (R5.4.1)
宮田 正枝	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	S52.12.12 (R5.4.1)
須藤 邦彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R5.4.1)
加藤 陽彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H21.5.28 (R5.4.1)
井出 紘和	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H26.4.1 (R5.4.1)
佐藤みつ江	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H2.4.1 (R5.4.1)
檜野加寿美	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H14.4.1 (R5.4.1)
松本 信利	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.4.1 (R5.4.1)
倉持 純晃	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R5.4.1)
宮澤 哲哉	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R5.4.1)
森戸 美紀	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R5.5.19 (—)
大澤 繭美	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (R5.4.1)
東福寺幾夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (R5.4.1)
寺田 勝英	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R5.4.1)
渡邊 秀臣	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R5.4.1)
栗原 幸正	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R5.5.19 (—)
大政 謙次	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 (R5.4.1)
内田 幸子	常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H30.4.1 (R5.4.1)
町田 修三	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H18.4.1 (R5.4.1)
澁澤 直子	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H27.5.22 (R5.4.1)
小針乃理子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R5.4.1)
鈴木 仁史	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R5.4.1)
大倉 英章	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	R2.5.22 (R5.4.1)
岡田 秀昭	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R5.4.1)

・教職員

令和5年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	4	0	4
大学	健康福祉学部	71	49	60	48	228
	薬学部	37	1	7	14	59
	保健医療学部	64	26	11	18	119
	人間発達学部	30	9	7	7	53
	農学部	26	21	4	9	60
	小計	228	106	89	96	519
	高等学校	77	21	10	5	113
	幼稚園	20	11	1	2	34
	合計	325	138	104	103	670

1-5 学校法人組織機構図



2 事業の概要

2-1 入学試験の状況(令和6年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	総合	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	11	52	121	0	184
			受験者	10	52	121	0	183
			合格者	10	52	78	0	140
			倍率	1.0	1.0	1.6	-	1.3
		入学者	7	52	19	0	78	
		社会福祉	志願者	13	56	153	1	223
			受験者	12	56	153	1	222
			合格者	9	55	83	0	147
			倍率	1.3	1.0	1.8	-	1.5
		入学者	8	55	17	0	80	
		健康栄養	志願者	46	63	165	0	274
			受験者	44	63	159	0	266
	合格者		16	57	53	0	126	
	倍率		2.8	1.1	3.0	-	2.1	
	入学者	12	57	17	0	86		
	薬	薬	志願者	44	41	309	2	396
			受験者	44	41	291	1	377
			合格者	30	36	161	1	228
			倍率	1.5	1.1	1.8	1.0	1.7
	入学者	19	36	39	0	94		
	保健医療	看護	志願者	64	51	394	3	512
			受験者	64	51	383	3	501
			合格者	32	50	163	1	246
			倍率	2.0	1.0	2.3	3.0	2.0
		入学者	17	50	36	0	103	
		理学療法	志願者	22	29	200	0	251
			受験者	21	29	198	0	248
			合格者	10	19	66	0	95
倍率	2.1		1.5	3.0	-	2.6		
入学者	7	19	22	0	48			
人間発達	子ども教育	志願者	21	64	172	0	257	
		受験者	21	64	169	0	254	
		合格者	8	62	89	0	159	
		倍率	2.6	1.0	1.9	-	1.6	
入学者	4	62	11	0	77			
農	生物生産	志願者	34	35	255	0	324	
		受験者	34	35	245	0	314	
		合格者	25	34	186	0	245	
		倍率	1.4	1.0	1.3	-	1.3	
入学者	16	34	38	0	88			
合計	合計	志願者	255	391	1,769	6	2,421	
		受験者	250	391	1,719	5	2,365	
		合格者	140	365	879	2	1,386	
		倍率	1.8	1.1	2.0	2.5	1.7	
入学者	90	365	199	0	654			
学校			区分	推薦	学特Ⅰ	学特Ⅱ	一般	合計
高等学校			志願者	367	1,044	1,040	5	2,456
			受験者	366	1,042	671	4	2,083
			合格者	353	901	612	2	1,868
			倍率	1.0	1.2	1.1	2.0	1.1
入学者	353		50		403			

2-2 卒業者数、修了者数(令和5年度)

学校	学部・研究科	学科・専攻	卒業者数
大学院	健康福祉学研究科	論文提出による博士(保健福祉学)	1
		医療福祉情報学専攻 修士課程	1
		食品栄養学専攻 博士前期課程	1
	薬学研究科	薬学専攻 博士課程	1
		論文提出による博士(薬学)	1
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	6
理学療法学専攻 修士課程		4	
大学	健康福祉学部	医療情報学科	64
		社会福祉学科	77
		健康栄養学科	77
	薬学部	薬学科	87
	保健医療学部	看護学科	99
		理学療法学学科	45
	人間発達学部	子ども教育学科	87
農学部	生物生産学科	88	
高等学校			416
幼稚園			87

2-3 トピックス

○大学就職率

キャリアサポートセンターでは、各学科の就職活動スケジュールに合わせて、就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っております。また、「求人情報検索システム」を活用して、学生は求人情報及び求人票をパソコンや携帯電話から検索・閲覧できるようになっています。さらにセンターに求人情報が入ると、随時学科別に情報を配信しています。

各学部の就職率は表1～5のとおり、健康福祉学部99.0%、保健医療学部100.0%、薬学部100.0%、人間発達学部98.8%、農学部100% となっています。

今後も、アドバイザーの教員や各学科のキャリアサポート委員との連携を密にして、学生の就職を支援して参ります。

表1 健康福祉学部就職内定率(9月卒業生除く)

健康福祉学部	医療情報学科	社会福祉学科	健康栄養学科	合計
卒業者	64名	77名	77名	218名
大学院等進学	2名	0名	1名	3名
就職希望者	61名	73名	76名	210名
就職者数	59名	73名	76名	208名
内定率	96.7%	100.0%	100.0%	99.0%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学学科	合計
卒業者	99名	45名	144名
大学院等進学	4名	2名	6名
就職希望者	92名	43名	135名
就職者数	92名	43名	135名
内定率	100.0%	100.0%	100.0%

表3 薬学部就職内定率(9月卒業生除く)

薬学部	薬学科	合計
卒業者	77名	77名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	62名	62名
就職者数	62名	62名
内定率	100.0%	100.0%

表4 人間発達学部就職内定率(9月卒業生除く)

人間発達学部	子ども教育学科	合計
卒業者	87名	87名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	85名	85名
就職者数	84名	84名
内定率	98.8%	98.8%

表5 農学部就職内定率

農学部	生物生産学科	合計
卒業者	88名	88名
大学院等進学	9名	9名
就職希望者	79名	79名
就職者数	79名	79名
内定率	100.0%	100.0%

○国試等の合格者数・合格率

令和5年度卒業生・在学生の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表6 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率
医療情報	診療情報管理士認定試験	21名	20名	95.2%
社会福祉	社会福祉士国家試験	68名	63名	92.6%
	精神保健福祉士国家試験	10名	10名	100.0%
	介護福祉士国家試験	13名	13名	100.0%
健康栄養	管理栄養士国家試験	71名	69名	97.2%
	NR・サプリメントアドバイザー認定試験	22名	21名	95.5%
薬	薬剤師国家試験	77名	63名	81.8%
看護	看護師国家試験	99名	95名	96.0%
	保健師国家試験	18名	18名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	45名	44名	97.8%
大学院・看護学専攻	助産師国家試験	4名	4名	100.0%
人間発達学部	教員採用試験 小学校教諭(公立)	25名	20名	80.0%
	教員採用試験 中学校教諭(公立)	1名	0名	0.0%
	教員採用試験 特別支援学校(公立)	7名	6名	85.7%
	公務員(保育職)	13名	8名	

○その他の事業

▽国際交流

・学術協定が交わされている海外の教育機関とは、双方間の研修が行われ(派遣59名、受入33名、Online8名)、参加学生は各国の文化・歴史・教育に触れると共に専攻分野に関わる知識を深めました。また、双方の学生交流を通し、コミュニケーションスキルの向上と国際的視野を広げる貴重な機会を得ました。

- ◎ オーストラリア シドニー大学英語教育センター(全学科)
派遣:R5年8月26日～9月10日(17名)
- ◎ アイルランド ダブリン大学トリニティカレッジ(薬科)
派遣:R5年9月2日～10日(7名)受入:R5年6月15日～8月4日(2名)
- ◎ フィンランド ヤムク大学(全学科)
派遣:R5年9月8日～18日(8名)*国際交流センタープログラム
派遣:R5年8月18日～12月22日(1名)、8月18日～R6年6月29日(1名)
- *医療情報学科ディプロマプログラム
- ◎ ドイツ フレゼニウス大学(理学療法学科)
派遣:R5年9月8日～18日(11名) 受入:R6年3月3日～10日(9名)
- ◎ ドイツ カイザーラウタン・ランダウ大学(子ども教育学科)
派遣:R5年9月14日～24日(3名)
- ◎ ベトナム ホーチミン医科薬科大学(全学科)
派遣:R6年2月28日～3月8日(13名)受入:R5年10月15日～22日(14名)
- ◎ タイ タマサート大学(看護学科)
受入:R5年10月15日～22日(4名)
- ◎ 台湾 弘光科技大学(看護学科)
受入:R5年10月15日～22日(2名)
- ◎ オランダ ハンゼ大学(理学療法学科)
Online交流:R6年3月8、21、22日(8名)

[その他]

医療情報学科、健康栄養学科、薬学科より3名がぐんま赤尾奨学財団の大学生海外留学奨学金を得てそれぞれフィンランド、オーストラリア、カナダへの留学を実現しました。

学内で恒例となったグローバルカフェ(外国人ゲストとのフリートーク)には年間延べ147名が参加し、英語でのコミュニケーション力アップや情報交換の場として学生に親しまれています。特別編として、韓国、タイ出身の留学生が講師となり、国の言葉、文化を学ぶ会では、延べ51名が参加し、留学生と本学学生の交流の他、国際理解を深める機会となりました。

さらに、公開ゼミ、オープンキャンパス参加、大学祭出店を通して、高校生や地域に住む学内外の多くの方々

に高崎健康福祉大学の国際交流活動について知って頂くことができました。

今後もより充実した国際交流活動を目指し、質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思ひます。

▽ボランティア関係

ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活動は、イベントやお祭りなどを再開する団体からボランティアの依頼が届くようになり、活動人数はやや少ないものの、活動件数は、2019年度(令和元年度)に近い水準まで戻ってきました。学生の企画による活動も対面実施となり、学生同士の交流および地域社会などでボランティア活動を通じた経験や学びを得られるようになりました。令和5年度に依頼のあった団体、活動先に依頼をした団体、学生自身が情報を得て申込をした団体などへの参加状況は、のべ241団体・1,041人となりました。

今年度、朝日新聞厚生文化事業団と「災害時の支援活動の協力に関する協定書」を締結しました。災害が起きた際の被災地での学生のボランティア活動を金銭面から応援をしていただけることになりました。

専門性を活かした活動のひとつ、「援農ボランティア」は、新たに「とらや」様とつながり、農家が行っている作業の経験と、農家の高齢化問題についての実情を知ることを目的に、白小豆収穫ボランティア体験を実施しました。

< 学生スタッフとの協働活動 > 学生スタッフ数…29人

- ・オープンキャンパス VSC写真による活動紹介 5日間 各日3～6名参加
- ・高崎市NPO法人・ボランティアフェスティバルにおける展示・子どもの遊びボランティア
- ・「ボラカフェ」の企画・実施
- 5/8～5/19昼休み時間に、ボランティアをしているサークルや団体が1～2回ずつ説明
- 9団体53人の参加(部活・サークル員21人、参加学生32人)
- ・観音山ファミリーパークを活用した子どもとの交流イベント「わくわく大作戦」の企画・実施
- 年間4回 延べ41人
- ・冬休みを過ごす子どもたちへの遊びの提供「わくわくハッピークリスマス」の企画・実施
- 健大附属幼稚園、じいじとばあばの宝物本庄のおうち(学童クラブ)で1日ずつ開催
- 延べ23人活動

< 学生プロジェクトの支援 >

- 災害復興支援ボランティア「わたりば」
- ・災害ボランティア養成研修(2人)
- ・震災遺構訪問と「聞き書き講座」受講(日本財団ボランティアセンター共催)(4人)

- 赤い羽根共同募金活動(学内) 1週間お昼休み時間帯に実施
- 募金サポーター 延べ111人 募金額= 49,630円
- ベルマーク運動への協力(学生グループ「べるふぁみ」×あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)
- 回収結果(年間):ベルマーク2,354枚/インクカートリッジ189個 合計5,660.4点
- 専門性を活かした活動の創出
- ・群馬県立小児医療センターの協力による活動
- 「暑中見舞い絵はがきを贈ろう」(25人)
- 「クリスマス手作りプレゼントの製作・送付」(51人、103個製作)
- 農業支援ボランティア
- ・梨園援農ボランティア 年3回活動 延べ19人(引率者含) 協力農園: 悴田梨園
- ・白あずき収穫ボランティア体験事業(新規) 15人(引率含) 協力農園: 虎屋(株)群馬農場・契約農家の畑
- ・伝統野菜(国分になじん)援農ボランティア 18人(引率含) 協力農園: 国府野菜本舗
- 令和6年能登半島地震支援募金の実施
- ・設置型募金箱学内募金(各学部事務局に設置)
- 1/15~1/30 義援金として寄付(金額)199,476円(群馬県共同募金会高崎市共同募金委員会)
- ・学生サポーターによる募金
- (高崎駅での呼びかけ)1/21 9人
- (学内呼びかけ)1/22~1/26 延べ38人
- 支援金募金として寄付(金額)147,559円(高崎駅・学内合計)
- 【中央共同募金会災害ボランティア・NPOサポート募金(ボラサポ・令和6年能登半島地震)】
- あなたの愛で誰かのeyeを救おうECOプロジェクト(コンタクトレンズ空ケースの回収) 4人
- 登録制園芸ボランティアと学内「天空ガーデン」整備活動(学内8号館3階屋上ガーデン)
- 年6回 延べ20人

<災害復興スタディー&ボランティアツアー>

6/17~18 1泊2日 訪問地域:宮城県石巻市・亘理町・東松島市 23人(教職員含)

▽健康福祉学部

・令和5年度より医療情報学科3年生向けのIT科目履修型留学プログラム、および大学院医療福祉情報学専攻対象のサイバーセキュリティ連携プログラムを開始しています。この度、本学国際交流センターと医療情報学科が協力して提案したプログラムが、独立行政法人日本学生支援機構の2023年度海外留学支援制度(協定派遣)学生交流創生タイプ(タイプA)に採択され、留学する学生に経済的な支援をいただけることになりました。8月より初めての留学生として、大学院修士課程1年生1名、医療情報学科3年生1名がJamk応用科学大学での留学を開始しました。

・令和5年10月14日、株式会社リバナスが主催・運営するテックランターの一部分、「フードテックグランプリ2023」がセンターオブガレージ(東京都墨田区)で開催され、健康福祉学部健康栄養学科の應本 真 准教授が代表を務めるチーム【Up Tongue Func】が企業賞「吉野家賞」を受賞しました。

▽薬学部

・薬学科5年の櫻井大地君が日本薬学会第144年会で「学生優秀発表賞」を受賞した。令和6年3月28日から31日にかけてパシフィコ横浜で開催された日本薬学会第144年会において、本学薬学部薬学科5年(分子神経科学研究室)の櫻井大地君が学生優秀発表賞(ポスター発表の部)を受賞しました。発表演題「人工生物発光システムAkaBLIを利用した活動依存的なBDNF発現変化の可視化」受賞者の櫻井君のコメントです。「この度は、日本薬学会144年会において学生優秀発表賞を受賞でき、大変嬉しく思います。本研究では、BDNF-AkaLucマウスという遺伝子改変マウスを用いて、生体マウス脳内BDNF発現変化を可視化することに成功しました。この研究は、将来的には神経精神疾患の原因解明や治療戦略構築の一助となることが期待されます。

・「ちびっ子薬剤師体験」を開催した。このイベントは薬剤師への関心を高めようと初めて開催しました。子ども約40名が本物の薬剤師になりきって、いろいろな作業を体験しました。本県は薬剤師の数が十分とは言えない状況であり、このイベントをきっかけに、薬剤師を目指す子が増えてくれると嬉しいということで実施した。

▽保健医療学部

・看護学科の棚橋さつき教授が優良看護職員の厚生労働大臣賞を受賞しました。多年にわたり看護業務に精励し看護職の向上発展に尽力し、その功績が特に顕著であり、携わる者の模範となる優良者として認められました。

・群馬県が行う新型コロナウイルス感染症対策支援に看護学科教員が参画し、ホテル療養者の健康管理業務やワクチン接種協力などの活動により、山本一太群馬県知事より感謝状をいただきました。

・令和5年10月7日(土)にがん患者支援チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんま」に、看護学科の学生、卒業生、教員が健大チームとして参加しました。アクティビティとして「がん〇×クイズ」を実施し、がんの健診や治療などへの関心を高めてもらえることができました。

・令和5年10月15日～10月22日に国立研究開発法人科学技術振興機構の「さくらサイエンスプログラム」にて、本学と学術協定を締結しているタマサート大学(タイ)、ホーチミン医科薬科大学(ベトナム)、弘光技術大学(台湾)より計10名の看護学生を招へいして研修を行いました。高齢社会における高齢者の身体的機能の特徴に応じた看護の必要性に加えて、高齢者への精神的支援の大切さについても学習することができ、また、イノベーションプロジェクトを創出する過程で、課題発見力と課題解決能力を育み、自国社会の健康課題や医療事情における先端科学技術の導入を検討することもできました。

・令和5年度で看護学科20周年を迎えることを記念して、令和6年3月2日(土)に、看護学科同窓会 第2回総会 & ホームカミングデーが開催されました。旧校舎で行う最後の同窓会となり、平成17年度～令和4年度に卒業した50名の同窓生が県内外から参加しました。

・看護学科養護教諭課程の2年生が高崎健康福祉大学附属幼稚園の子どもたちを対象に保健指導を行いました。

・理学療法学科の吉田剛学科長が日本理学療法士協会の最高賞である協会賞を受賞しました。吉田学科長は長年、群馬県理学療法士協会理事、日本理学療法士協会代議員を務め、また、日本予防理学療法学会理事、日本栄養・嚥下理学療法学会理事など、理学療法学の発展に寄与してきました。

・令和5年5月28日(日)に「全国パーキンソン病友の会群馬県支部総会・医療講演会」で理学療法学科の大野洋一研究室の学生たちが会場設営や会場内での参加者の誘導、介助などボランティアとして運営に協力しました。

・令和5年6月16日～18日に開催された第65回日本老年医学会で理学療法学科の解良武士教授、篠原智行教授、樋口大輔教授がそれぞれの研究課題を発表しました。中でも解良教授の報告は優秀演題候補に選ばれ、学会当日に最終審査を受けました。残念ながら最優秀演題には選ばれませんでした。理学療法学科の研究内容を全国の研究者に広く示す機会となりました。

・理学療法学科の解良武士教授と東京都健康長寿医療センター研究所の大淵研究室との共同研究の成果が「The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle」に掲載されました。本研究結果は呼吸サルコペニアが将来の健康アウトカムに与える影響を示唆する重要なものであり、この分野での学際的な議論がさらに深まっていくことが期待されます。

・理学療法学科の篠原智行研究室の4年生ゼミ生が令和5年4月から7月にかけて、高崎市の新高尾公民館にてフレイル予防教室を全6シリーズで行いました。学生が準備や当日運営を行うことで企画・運営の難しさや楽しさ、地域住民の方々との関わり方を学ぶことができました。

・令和5年9月18日に高崎イオンが主催する「敬老の日 イオンウォーキングイベント～家族でモールウォーキング～」が行われ、理学療法学科の千木良佑介准教授がウォーキング講師として参加し、地域貢献活動の一環として運営協力を行いました。

▽人間発達学部

・令和5年6月29日、保育・教育コースの2年生が、農学部生物生産学科作物園芸システムコースの学生と一緒に健大附属幼稚園の年長児と田植え体験を実施いたしました。同学科作物学研究室の廣瀬先生、岡部先生、橋田先生にご指導いただきながら、農学部の農場にある田んぼで、子どもたちと一緒に楽しく食育活動をおこない、将来の保育者として援助の仕方や留意すべきことなど、実際の体験を通して学ぶことができました。令和5年10月11日には同様に園児たちとともに稲刈りの体験も行うことができました。

・令和5年9月14日から24日の11日間でドイツのランダウ大学を訪問し研修を行いました。今回が初めての実施となるこの研修では、大学に併設されたKITA(保育施設)と公立小学校を見学するとともに、教育や異文化コミュニケーションについて学ぶランダウ大学の学生6名と5日に渡って交流しました。

・令和5年10月21日、22日の2日間で「フードドライブ」を実施しました。初めての試みでしたが、多くの方が関心を寄せて下さり、米、パスタ、カップ麺、缶詰、調味料、飲料水などの食料品や日用品をお持ちいただきました。また、農学部からは収穫した茄子もご寄付いただきました。集まった食料品・日用品は2日間で105kgになりました。

・令和5年11月11日に子ども教育学科主催の公開講座「小学生のためのプログラミング・ワークショップ-マイクラで楽しく学ぼう!」を開催しました。本学科の大橋博講師から、小学校でのプログラミング学習にどのようなものがあるかについて紹介があり、続いて、Microsoft 認定教育イノベーターフェロー、マイクラフトグローバルメンターである福島学氏(多久市立中央校)を講師に迎え、実際にMicrosoft Surface を操作しながら教育版マイクラフトでプログラミングを学びました。創意工夫によって、独自のヴァーチャルな世界を創造することができるマイクラフトの可能性を知ること、今後の教育現場におけるプログラミング学習の意義について理解を深めることができました。

・令和5年11月25日に開催される群馬県スポーツ協会主催イベント「目指せ! 未来のアスリートわくわく運動プロジェクト」を、子ども教育の学生32名及び教員2名がサポートいたしました。同イベントは群馬県において、2029年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されることを踏まえ、ジュニア育成及び両大会の周知を図るものです。学生たちは、会場の準備から後片付け、そして本学教員がプロデュースした「遊びの広場」の運営に全力で取り組み、大会運営者から高い評価を受ける事ができました。群馬県が国体開催に向けての土台作りに少しでも貢献できました。

▽農学部

・大学通信の調査(UNIV PRESS NEWS 2023年9月1日号)で令和4年度の第1期生の就職率が全国の国公立私立大学を含めて、農学系で全国第1位でした。また、令和5年度も100%の就職実績をあげることができました。

・コロナ禍で中止していた「海外日本食事情演習」をシンガポールにおいて初めて実施しました。また、令和5年度の新入生からの新カリキュラムにおいて、キャリアアップ科目を1、2年生の時期にも取り入れました。

・「SDGs で協調する社会-私たちの提案・実践」をテーマに「高校生論文コンテスト」を行い、全国から473 件の応募がありました。

・「食・農・環境」に関わる探求的な学びの発表の場を提供することを目的として、「高校生自由研究コンテスト」を実施し、全国から41件の応募研究があり、大学祭の時に、受賞者の発表会を行いました。

・広報の一環として一昨年度開設した農学部のホームページの常時更新と、その紹介のためのQRコード付きのリーフレットを作成し、ガイダンスや模擬授業、オープンキャンパスなど、機会あるごとに配布しました。

・令和5年6月に農学部年報(令和4年度)を発行し、生物生産学科オリジナルwebサイトの更新を行いました。

・令和5年7月に、富岡市と、本学の教育・研究活動への協力と、富岡市の農業をはじめとする地域振興を目指した取組に関して、相互に協力し、連携・交流を推進するための連携協定を、締結しました。

・清水 庸教授が日本農業工学会フェロー、大政謙次学部長が(公社)日本工学会からフェローの称号を授与されました。

▽スケート部

・本年度も多くの選手を世界に輩出し、ワールドカップ第3戦スタヴエンゲル大会では、男子1000mで新濱立也(本大学職員)が2位、山田和哉(医療情報学科4年)が3位となり、2人とも表彰台に上る活躍となりました。また、ジュニアワールドカップ、世界ジュニア選手権では廣瀬勇太(医療情報学科1年)と畠山雪菜(子ども教育学科1年)が出場し、ジュニアワールドカップでは、廣瀬勇太が男子500m優勝、世界ジュニアでは畠山雪菜が女子チームパシュートで優勝しました。さらに、世界大学選手権大会には、廣瀬勇太と小野寺日菜(子ども教育学科2年)が出場し、廣瀬勇太が男子500m2位、男子1000mで3位になり、小野寺日菜が女子1000mで2位となりました。

・第96回全日本学生氷上競技大会では、96年という歴史ある大会の中で史上2回目となる男女総合アベック優勝を果たすことができました。高崎健康福祉大学伊香保リンクで開催され、自分たちの大学名が入ったリンク、日ごろから練習をしているホームリンクであることが選手にとってプレッシャーになった部分もあったと思います。しかし、それも感じさせないほど圧倒的な滑りを選手一人ひとりがみせてくれました。

女子は、矢澤明里(看護学科4年)が1500m、3000m共に2位になり表彰台に乗りました。昨年より上の順位でゴールし、4年生として後輩たちに素晴らしい背中をみせてくれました。また、2000mリレーでは、見事なバトンパスで2位と差をつけてのゴールとなりました。

男子は、廣瀬勇太が500m優勝し、山田和哉が1000m、1500mで優勝しました。また、2000mリレーでも優勝するなど激戦の中でも多くの選手が表彰台に乗る活躍となりました。

第97回日本学生氷上競技大会では、史上初となる2年連続男女総合アベック優勝ができるように、お互いの力を高めあいながら日々のトレーニングに励んでいきます。

▽高等学校

令和5年度の第58回群馬県高校総体は、予定通りに実施されました。本校は、2位以下に30点以上の差をつけ、2年連続27回目の女子総合優勝を果たしました。男子は、13位でした。団体では、バレーボール・ソフトボール・ソフトテニス女子・剣道・水泳(飛込)が優勝しました。夏の高校野球県大会は準決勝で敗れ、甲子園出場は今年も叶いませんでした。インターハイでは、水泳競技(飛込)の女子3mの飛板飛込で乗松 飛羽(3年)さんが見事優勝し「日本一」に輝きました。剣道女子団体も第3位と健闘しました。乗松さんは、鹿児島での特別国体でも優勝しました。さらに、ソフトボール部の井出 久美(3年)さんは、日本代表の主将として第9回女子U18アジアカップの全試合に出場して優勝しました。バレーボール部は、春の高校バレー2024(東京都体育館)出場しました。

硬式野球部は、秋季の県大会で、2年連続の優勝を果たし、関東大会では、ベスト4に進出し、関東地区の一般代表校として第96回選抜高校野球大会(2年連続7回目、甲子園には、春夏通算10回目)に出場した。選抜では、1回戦で学法石川(福島)に4-0、2回戦で明豊(大分)に4-0、準々決勝で山梨学院(山梨)に6-1、準決勝で星稜(石川)に5-4で勝利し、群馬県勢として69年ぶりに決勝に進出、決勝戦では、昨年初戦で敗れた報徳学園に3-2で競り勝ち、春夏通じて初の優勝を果たした。群馬県勢のセンバツ優勝は初めて。青柳監督として創部から23年目の春、ついに頂点に立ちました。他にも春の選抜大会には、剣道部、個人で空手道部・柔道部が出場しました。

また、今年度は健大高崎高校の文化祭である第12回藤樹祭を開催いたしました。

1日目は学内公開、2日目はチケット制による一般公開となりました。大勢のお客様にご来場いただきました。令和4年度の入学生から本校が力を入れている総合的な探究の時間の中で、1年生の大進・特進コースは、「教育と探求社」のクエストエデュケーションを導入しています。その中の企業探究部門「コーポレートアクセス」に取り組み2学期の終わりにそれぞれのチームが企業から課されたミッションに対して自分たちが作成したプレゼンテーションを提出する大会(クエストカップ)にエントリーしました。エントリーした全国410校、約85,000人、6,000作品の中から本校の2チーム「塩野義製薬-1年9組」と「大和ハウス-1年12組」が担当企業の上位10チームに与えられる「優秀賞」を獲得し明治大学中野キャンパスで開催された全国大会に出場しました。また、2年生の大進・特進コースは、リクルート社主催の高校生の課題発見力を育む、アントレプレナーシップ・プログラムの「高校生Ring2023」に取り組み、その中から2年生の小暮 浩奈さん(大進コース)が2次審査を通過し、全国の30組に選出され3次審査に進みました。エントリー申込者数は、25,827人でした。アントレプレナーシップとは「自ら問いを立てて行動し、変化を起こす力」と定義され、先の見通しが立てにくい時代に「半径5m」にある自分の視点からビジネスを考えるプログラムを通じて、参加する高校生が自分への理解を深め、興味があること、やりたいことを見つけたきっかけとなることを目指している教育プログラムです。本校での「well-being探究」の一つの成果として今回の結果となりました。

さて、県教育委員会ではこれからの教育の方向を模索するにあたってOECDの「ラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030」を参考にしています。このラーニング・コンパスは2030年の教育のあるべき姿を掲げて、個人と社会のウェルビーイングに向かう方向性を示すものです。本校の教育目標は、「次代を担う社会の形成者の一人として、知識や技能と広く国際人としての教養を高め、主体的に学び、常に想像力を働かせて自他共にWell-beingに向かう人材を育成する」ことです。生徒も大人も一人一人が自立して学び続ける学習者となるのが大切です。本校では、探究学習を教育の一つの柱として力を入れております。これまで以上に学習者が自他を尊重し、当事者意識をもって問題の解決に向けて粘り強く取り組める「問題解決」型の学びを充実させていきたいと考えております。

生徒たちは、校訓である「感謝・奉仕・友愛」を大きな理想とし一生懸命に努力しております。気持ちの良い挨拶や笑顔あふれる学校、真摯に学ぶ生徒や情熱ある教職員、素晴らしい環境の中で、「文武両道」を実践し、学習と部活動のバランスの取れた学校生活を楽しみながら送っています。これからも明るい学校づくりに全力で取り組みます。

▽幼稚園

・幼稚園では、大学の農学部や子ども教育学科、健康栄養学科と連携したお米作りや食育、高校の科学部と連携した科学あそびなどに取り組んで、保育内容の充実を図ると共に、多様な関わりを通して子どもの人格形成の土台作りを行っています。

・非認知能力の育成を保育の中心に置き、園児が友達と広い園庭で伸び伸びと遊んだり、多様な経験をしたりする子ども主体の保育を展開することにより、子どもの主体性や自己肯定感、思考力、人と関わる力、思いやり、自制心等が高まるようにしています。

・地域内でも認定こども園に移行する施設が増加する中、健大附属幼稚園は従前通りの幼稚園として建学の精神を守りながら、幼児教育を実践していきます。

2-4 施設設備

○高等学校体育館エアコン設置工事

高等学校体育館にエアコン12台を設置しました。集会や体育の授業、部活動など多様な用途で使用でき、熱中症対策や部活動の効率化向上に役立っております。

3-1 計算書類等

資金収支計算書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,836,800,000	4,829,895,800	6,904,200
手数料収入	84,600,000	87,731,490	△ 3,131,490
寄付金収入	82,200,000	97,850,384	△ 15,650,384
補助金収入	1,255,400,000	1,242,924,677	12,475,323
国庫補助金収入	666,700,000	654,696,000	12,004,000
県補助金収入	577,800,000	577,796,780	3,220
市町村補助金収入	10,900,000	10,431,897	468,103
資産売却収入	130,000,000	130,000,000	0
付随事業・収益事業収入	250,800,000	257,540,679	△ 6,740,679
受取利息・配当金収入	108,900,000	117,854,531	△ 8,954,531
雑収入	152,500,000	184,908,118	△ 32,408,118
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	722,500,000	694,401,700	28,098,300
その他の収入	1,378,750,000	1,388,920,711	△ 10,170,711
資金収入調整勘定	△ 781,100,000	△ 819,285,768	38,185,768
前年度繰越支払資金	3,331,050,000	3,331,086,347	
収入の部 合計	11,552,400,000	11,543,828,669	8,571,331
支出の部			
人件費支出	3,651,800,000	3,658,269,230	△ 6,469,230
教育研究経費支出	1,910,700,000	1,797,584,120	113,115,880
管理経費支出	535,650,000	506,252,258	29,397,742
借入金等利息支出	5,300,000	5,947,625	△ 647,625
借入金等返済支出	200,000,000	200,000,000	0
施設関係支出	2,202,700,000	2,202,416,450	283,550
設備関係支出	193,050,000	190,305,860	2,744,140
資産運用支出	454,550,000	457,087,506	△ 2,537,506
その他の支出	91,700,000	127,788,417	△ 36,088,417
(予備費)	(0) 20,000,000		0
資金支出調整勘定	△ 71,850,000	△ 84,823,450	12,973,450
次年度繰越支払資金	2,358,800,000	2,483,000,653	△ 124,200,653
支出の部 合計	11,552,400,000	11,543,828,669	8,571,331

資金収支内訳表

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

収入の部

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	4,121,441,500	597,237,800	111,216,500
手数料収入	192,300	56,609,590	30,785,600	144,000
寄付金収入	0	57,894,000	39,956,384	0
補助金収入	2,355,000	648,507,085	537,211,592	54,851,000
国庫補助金収入	2,355,000	648,275,000	4,066,000	0
県補助金収入	0	0	529,992,780	47,804,000
市町村補助金収入	0	232,085	3,152,812	7,047,000
資産売却収入	130,000,000	0	0	0
付随事業・収益事業収入	19,348,000	107,085,788	126,585,351	4,521,540
受取利息・配当金収入	117,854,531	0	0	0
雑収入	3,845,070	97,336,734	77,383,485	6,342,829
借入金等収入	0	0	0	0
計	273,594,901	5,088,874,697	1,409,160,212	177,075,869

支出の部

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
人件費支出	35,908,540	2,806,413,014	705,857,679	110,089,997
教育研究経費支出	0	1,354,627,632	391,231,130	51,725,358
管理経費支出	54,546,837	280,784,202	164,642,798	6,278,421
借入金等利息支出	0	4,613,669	1,333,956	0
借入金等返済支出	0	140,000,000	60,000,000	0
施設関係支出	0	2,198,126,450	4,290,000	0
設備関係支出	8,303,680	134,522,797	42,290,883	5,188,500
計	98,759,057	6,919,087,764	1,369,646,446	173,282,276

人件費支出内訳表

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	2,154,663,194	599,104,072	99,785,565
本務教員	0	2,109,593,774	560,557,523	89,424,440
本俸	0	1,156,031,802	301,253,965	49,918,588
期末手当	0	448,981,700	118,515,300	18,910,200
その他の手当	0	178,103,533	51,654,525	6,525,142
所定福利費	0	326,476,739	89,133,733	14,070,510
兼務教員	0	45,069,420	38,546,549	10,361,125
職員人件費支出	34,948,540	623,594,158	60,276,850	9,415,890
本務職員	33,957,981	491,408,927	52,039,356	7,161,883
本俸	18,552,000	269,245,896	30,926,496	3,592,800
期末手当	8,259,100	91,551,200	7,999,000	1,611,700
その他の手当	5,323,720	46,546,451	3,931,972	797,568
所定福利費	1,823,161	84,065,380	9,181,888	1,159,815
兼務職員	990,559	132,185,231	8,237,494	2,254,007
役員報酬支出	960,000	0	0	0
退職金支出	0	28,155,662	46,476,757	888,542
教員	0	28,155,662	46,476,757	888,542
職員	0	0	0	0
合計	35,908,540	2,806,413,014	705,857,679	110,089,997

活動区分資金収支計算書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	4,829,895,800
		手数料収入	87,731,490
		特別寄付金収入	65,250,384
		一般寄付金収入	1,000,000
		経常費等補助金収入	1,232,220,677
		付随事業収入	257,540,679
		雑収入	184,908,118
		教育活動資金収入計	6,658,547,148
	支出	人件費支出	3,658,269,230
		教育研究経費支出	1,797,584,120
		管理経費支出	506,252,258
		教育活動資金支出計	5,962,105,608
		差引	696,441,540
	調整勘定等	12,884,792	
	教育活動資金収支差額	709,326,332	
施設設備活動による資金収支	収入	施設整備補助金収入	31,600,000
		施設整備売却収入	10,704,000
		施設整備等活動資金収入計	42,304,000
	支出	施設関係支出	2,202,416,450
		設備関係支出	190,305,860
		施設整備等活動資金支出計	2,392,722,310
		差引	△ 2,350,418,310
	調整勘定等	△ 7,009,000	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 2,357,427,310	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			△ 1,648,100,978
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	130,000,000
		減価償却引当特定資産取崩収入	1,000,000,000
		預り金受入収入	59,897,526
		保険積立金回収収入	238,615,030
		立替金回収収入	6,768,648
		仮払金回収収入	6,251,379
		小計	1,441,532,583
		受取利息・配当金収入	117,854,531
		その他の活動資金収入計	1,559,387,114
	支出	借入金等返済支出	200,000,000
		有価証券購入支出	103,739,538
		減価償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000
		保険積立金支払支出	53,347,968
		預り金支払支出	69,517,911
		立替金支払支出	20,946,861
		仮払金支払支出	9,878,472
		小計	757,430,750
		借入金等利息支出	5,947,625
	その他の活動資金支出計	763,378,375	
	差引	796,008,739	
	調整勘定等	4,006,545	
	その他の活動資金収支差額	800,015,284	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			△ 848,085,694
前年度繰越支払資金			3,331,086,347
翌年度繰越支払資金			2,483,000,653

事業活動収支計算書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

	科目	予算	決算	差異	
教育活動収支	教育活動収入の部	学生生徒納付金	4,836,800,000	4,829,895,800	6,904,200
		手数料	84,600,000	87,731,490	△ 3,131,490
		寄付金	55,700,000	66,250,384	△ 10,550,384
		経常費等補助金	1,244,800,000	1,232,220,677	12,579,323
		付随事業収入	250,800,000	257,540,679	△ 6,740,679
		雑収入	152,500,000	184,908,118	△ 32,408,118
		教育活動収入計	6,625,200,000	6,658,547,148	△ 33,347,148
			科目	予算	決算
	支教育の活動	人件費	3,651,800,000	3,658,269,230	△ 6,469,230
		教育研究経費	2,485,300,000	2,373,141,259	112,158,741
		管理経費	581,050,000	551,657,173	29,392,827
		教育活動支出計	6,718,150,000	6,583,067,662	135,082,338
		教育活動収支差額	△ 92,950,000	75,479,486	△ 168,429,486
	教育活動外収支	収事業の活動	科目	予算	決算
受取利息配当金			108,900,000	117,854,531	△ 8,954,531
その他の教育活動外収入			0	0	0
教育活動外収入計			108,900,000	117,854,531	△ 8,954,531
支事業の活動		科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	5,300,000	5,947,625	△ 647,625
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	5,300,000	5,947,625	△ 647,625
教育活動外収支差額		103,600,000	111,906,906	△ 8,306,906	
経常収支差額		10,650,000	187,386,392	△ 176,736,392	
特別収支	収事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	45,700,000	62,175,447	△ 16,475,447
		特別収入計	45,700,000	62,175,447	△ 16,475,447
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	24,000,000	26,546,877	△ 2,546,877
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	24,000,000	26,546,877	△ 2,546,877
特別収支差額	21,700,000	35,628,570	△ 13,928,570		
予備費	(0) 20,000,000		20,000,000		
基本金組入前当年度収支差額	12,350,000	223,014,962	△ 210,664,962		
基本金組入額合計	△ 1,944,700,000	△ 1,948,513,687	3,813,687		
当年度収支差額	△ 1,932,350,000	△ 1,725,498,725	△ 206,851,275		
前年度繰越収支差額	△ 5,313,500,000	△ 5,313,525,719	25,719		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 7,245,850,000	△ 7,039,024,444	△ 206,825,556		
(参考)					
事業活動収入計	6,779,800,000	6,838,577,126	△ 58,777,126		
事業活動収出計	6,767,450,000	6,615,562,164	151,887,836		

事業活動収支内訳表

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目		部門				
		学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高校	附属幼稚園	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	0	4,121,441,500	597,237,800	111,216,500
		手数料	192,300	56,609,590	30,785,600	144,000
		寄付金	0	26,894,000	39,356,384	0
		経常費等補助金	2,355,000	641,869,085	533,145,592	54,851,000
		付随事業収入	19,348,000	107,085,788	126,585,351	4,521,540
		雑収入	3,845,070	97,336,734	77,383,485	6,342,829
		教育活動収入計	25,740,370	5,051,236,697	1,404,494,212	177,075,869
	事業活動支出の部	人件費	35,908,540	2,806,413,014	705,857,679	110,089,997
		教育研究経費	0	1,794,256,235	514,016,427	64,868,597
		管理経費	58,479,133	305,929,345	179,572,384	7,676,311
		徴収不能額等	0	0	0	0
		教育活動支出計	94,387,673	4,906,598,594	1,399,446,490	182,634,905
	教育活動収支差額		△ 68,647,303	144,638,103	5,047,722	△ 5,559,036
教育活動外収支	収入の部	受取利息配当金	117,854,531	0	0	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	117,854,531	0	0	0
	支出の部	借入金等利息	0	4,613,669	1,333,956	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	4,613,669	1,333,956	0
教育活動外収支差額		117,854,531	△ 4,613,669	△ 1,333,956	0	
経常収支差額		49,207,228	140,024,434	3,713,766	△ 5,559,036	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
		その他の特別収入	0	57,378,538	4,796,909	0
		特別収入計	0	57,378,538	4,796,909	0
	支出の部	資産処分差額	2,443,000	23,971,054	132,823	0
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計	2,443,000	23,971,054	132,823	0
特別収支差額		△ 2,443,000	33,407,484	4,664,086	0	
基本金組入前当年度収支差額		46,764,228	173,431,918	8,377,852	△ 5,559,036	
基本金組入額合計		△ 8,303,680	△ 1,828,442,538	△ 106,578,969	△ 5,188,500	
当年度収支差額		38,460,548	△ 1,655,010,620	△ 98,201,117	△ 10,747,536	
前年度繰越収支差額		△ 1,661,669,494	△ 1,226,935,316	△ 2,455,388,218	30,467,309	
翌年度繰越収支差額		△ 1,623,208,946	△ 2,881,945,936	△ 2,553,589,335	19,719,773	
(参考)						
事業活動収入計		143,594,901	5,108,615,235	1,409,291,121	177,075,869	
事業活動収出計		96,830,673	4,935,183,317	1,400,913,269	182,634,905	

貸借対照表

令和 6年 3月31日

(単位 : 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	16,108,638,133	15,254,020,831	854,617,302
有形固定資産	12,741,899,881	10,984,726,666	1,757,173,215
特定資産	2,100,000,000	2,800,000,000	△ 700,000,000
その他の固定資産	1,266,738,252	1,469,294,165	△ 202,555,913
流動資産	2,604,823,709	3,445,446,315	△ 840,622,606
資産の部 合計	18,713,461,842	18,699,467,146	13,994,696
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	540,000,000	740,000,000	△ 200,000,000
流動負債	1,017,290,863	1,026,311,129	△ 9,020,266
負債の部 合計	1,557,290,863	1,766,311,129	△ 209,020,266
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	23,664,195,423	21,715,681,736	1,948,513,687
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	431,000,000	431,000,000	0
繰越収支差額	△ 7,039,024,444	△ 5,313,525,719	△ 1,725,498,725
純資産の部 合計	17,156,170,979	16,933,156,017	223,014,962
負債及び純資産の部 合計	18,713,461,842	18,699,467,146	13,994,696

財 産 目 録

令和 6年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	令和5年度末
〔1〕資産総額	18,713,461,842
1、基本財産	12,741,899,881
(1)土地	1,680,211,326
(2)建物	6,900,156,990
(3)構築物	349,855,072
(4)図書	496,517,698
(5)教具・校具、及び備品	1,166,824,613
(6)車両	2,833,582
(7)建設仮勘定	2,145,500,600
2、運用財産	5,971,561,961
(1)預金、現金	2,483,000,653
(2)特定資産	2,100,000,000
(3)保険積立金	256,829,327
(4)有価証券	751,143,938
(5)未収入金	88,153,668
(6)立替金	20,946,861
(7)前払金	1,784,055
(8)仮払金	9,878,472
(9)電話加入権	952,358
(10)施設利用権	3,511,849
(11)出資金	600,000
(12)敷金	9,281,901
(13)ソフトウェア	12,934,772
(14)収益事業元入金	211,344,107
(15)長期貸付金	20,140,000
(16)短期貸付金	1,060,000
〔2〕負債総額	1,557,290,863
1、固定負債	540,000,000
(1)長期借入金	540,000,000
2、流動負債	1,017,290,863
(1)短期借入金	200,000,000
(2)未払金	62,991,637
(3)前受金	694,401,700
(4)預り金	59,897,526

3-2 事業活動収支計算の推移

(単位:円)

学 園	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収入	6,228,268,365	6,283,976,978	6,476,998,296	6,607,954,720	6,776,401,679
経常支出	5,920,634,331	6,194,753,624	6,294,496,643	6,590,845,125	6,589,015,287
経常収支差額	307,634,034	89,223,354	182,501,653	17,109,595	187,386,392
人件費	3,409,812,868	3,387,604,565	3,476,826,524	3,595,132,649	3,658,269,230
教育研究経費	2,065,471,748	2,373,041,968	2,371,309,142	2,385,295,253	2,373,141,259
管理経費	445,276,319	434,024,791	446,337,964	608,550,635	551,657,173
その他	73,396	82,300	23,013	1,866,587	5,947,625

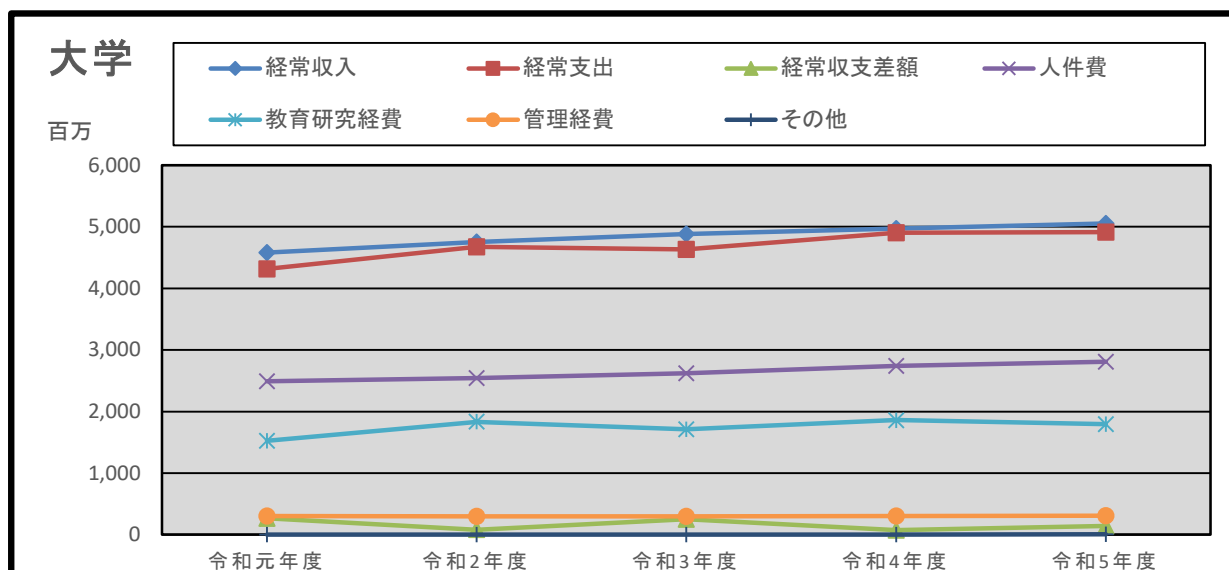
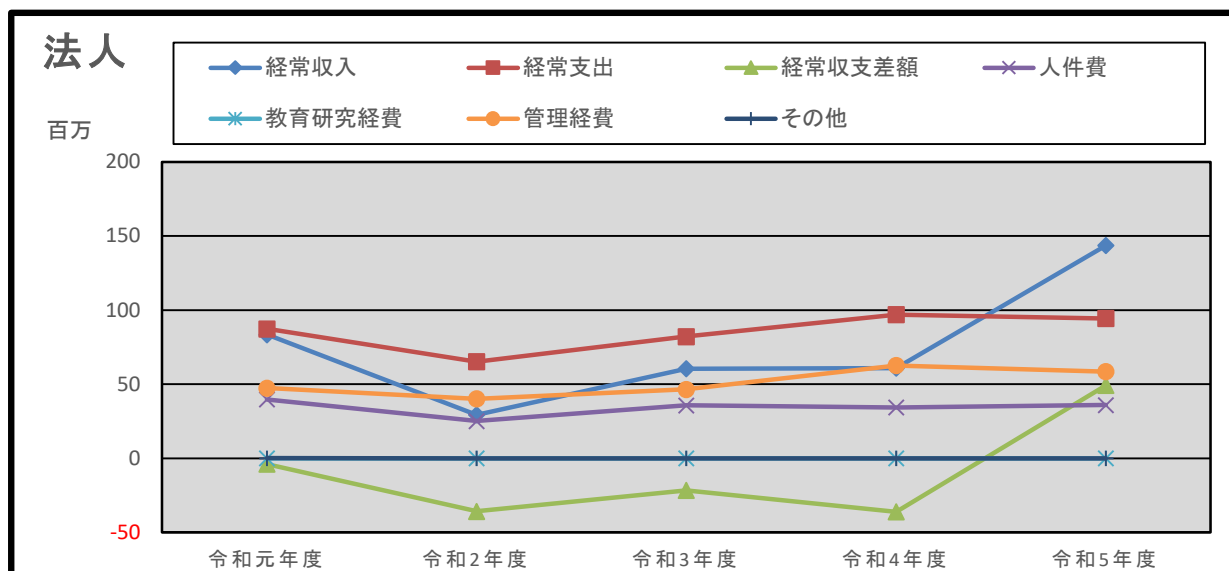
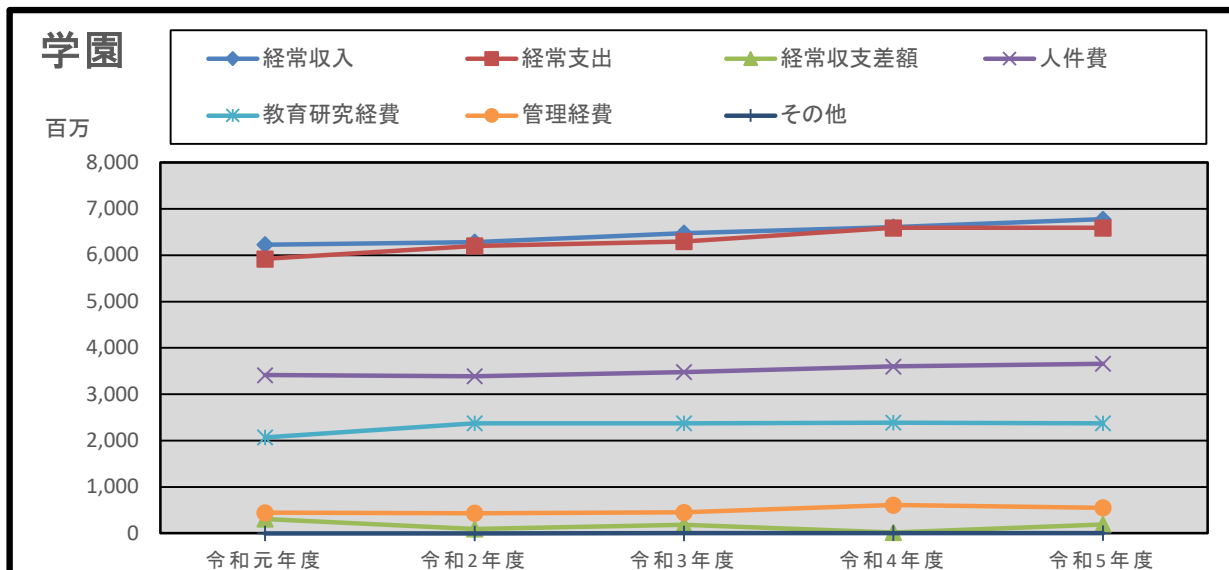
法 人	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収入	83,464,636	29,395,580	60,538,513	60,777,707	143,594,901
経常支出	87,327,687	65,196,792	82,193,914	96,894,861	94,387,673
経常収支差額	△ 3,863,051	△ 35,801,212	△ 21,655,401	△ 36,117,154	49,207,228
人件費	39,775,822	25,150,428	35,748,076	34,216,175	35,908,540
教育研究経費	0	0	0	0	0
管理経費	47,478,469	40,046,364	46,445,838	62,678,686	58,479,133
その他	73,396	0	0	0	0

大 学	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収入	4,579,680,141	4,754,348,632	4,882,465,321	4,974,201,555	5,051,236,697
経常支出	4,314,732,983	4,671,704,031	4,630,936,937	4,901,198,714	4,911,212,263
経常収支差額	264,947,158	82,644,601	251,528,384	73,002,841	140,024,434
人件費	2,489,952,038	2,541,451,653	2,621,612,112	2,742,114,097	2,806,413,014
教育研究経費	1,522,129,720	1,831,677,883	1,712,262,676	1,859,741,110	1,794,256,235
管理経費	302,651,225	298,492,195	297,062,149	299,188,165	305,929,345
その他	0	82,300	0	155,342	4,613,669

高 校	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収入	1,353,164,256	1,305,597,207	1,341,287,341	1,396,610,374	1,404,494,212
経常支出	1,315,205,438	1,280,141,239	1,383,582,027	1,413,016,576	1,400,780,446
経常収支差額	37,958,818	25,455,968	△ 42,294,686	△ 16,406,202	3,713,766
人件費	769,453,223	724,050,672	711,743,327	712,164,273	705,857,679
教育研究経費	460,908,915	470,385,253	577,000,385	461,234,266	514,016,427
管理経費	84,843,300	85,705,314	94,815,302	237,906,792	179,572,384
その他	0	0	23,013	1,711,245	1,333,956

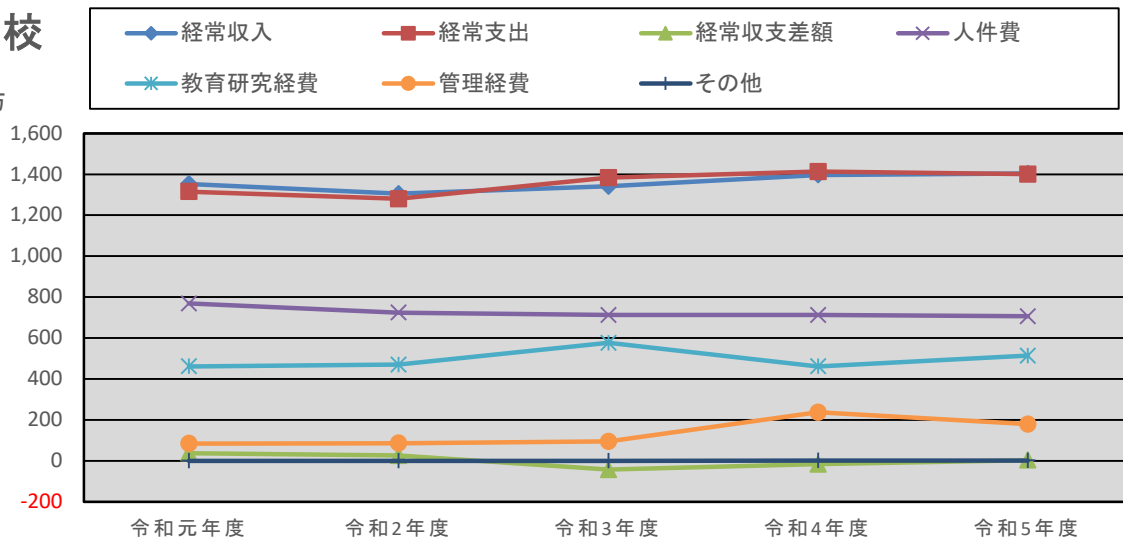
幼稚園	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収入	211,959,332	194,635,559	192,707,121	176,365,084	177,075,869
経常支出	203,368,223	177,711,562	197,783,765	179,734,973	182,634,905
経常収支差額	8,591,109	16,923,997	△ 5,076,644	△ 3,369,889	△ 5,559,036
人件費	110,631,785	96,951,812	107,723,009	106,638,104	110,089,997
教育研究経費	82,433,113	70,978,832	82,046,081	64,319,877	64,868,597
管理経費	10,303,325	9,780,918	8,014,675	8,776,992	7,676,311
その他	0	0	0	0	0

3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ



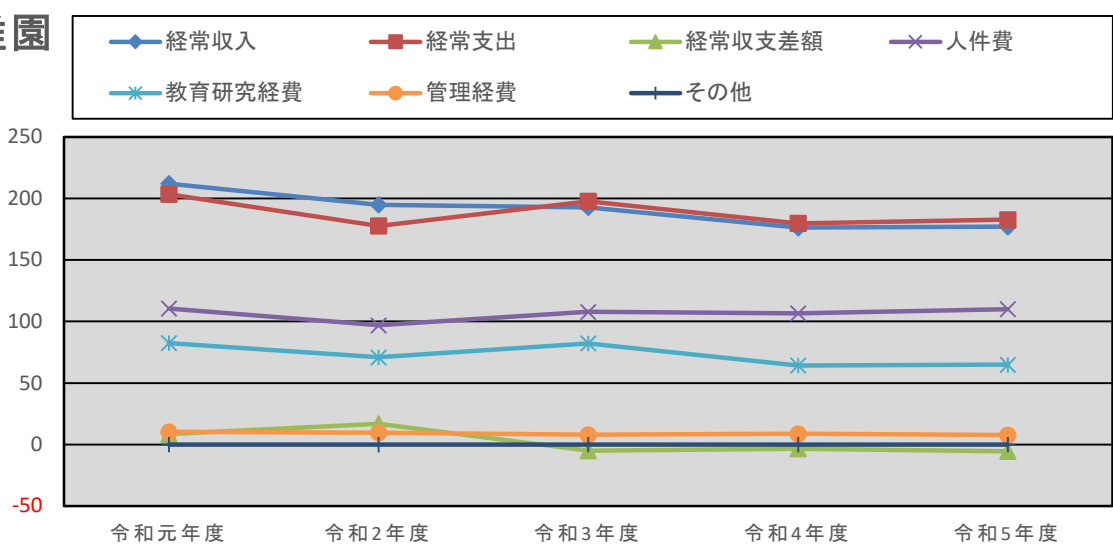
高校

百万



幼稚園

百万



3-4 財務比率の推移

○事業活動収支計算書関係比率(法人全体)

(%)

比率	算式(×100)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	全国平均
人件費比率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	54.7	53.9	54.0	54.4	54.0	50.9
人件費依存率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	76.0	73.6	73.4	73.9	75.7	69.3
教育研究経費比率△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	33.2	37.8	36.9	36.1	35.0	36.1
管理経費比率▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.1	6.9	6.9	9.2	8.1	8.5
事業活動収支差額比率△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	5.0	1.9	3.5	△ 0.1	3.3	4.6
学生生徒等納付金比率～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	72.0	73.2	73.6	73.6	71.3	73.5
寄付金比率△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.0	1.0	2.1	1.2	1.0	1.9
補助金比率△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	16.5	19.3	17.5	17.8	18.0	14.4
経常収支差額比率△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	4.9	1.4	2.8	0.3	2.8	4.2
教育活動収支差額比率△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	4.1	1.0	2.1	△ 0.2	1.1	2.3

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における私立大学(医歯系法人を除く)の令和4年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い ～どちらともいえない を示している。

○貸借対照表関係比率

(%)

比率	算式(×100)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	全国平均
固定資産構成比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.8	86.0	83.0	81.6	86.1	86.1
流動資産構成比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.2	14.0	17.0	18.4	13.9	13.9
純資産構成比率△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	95.0	95.3	93.7	90.5	91.7	88.3
固定比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	90.3	90.2	88.7	90.1	93.9	97.6
流動比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	285.7	299.8	337.6	335.7	256.1	263.2
前受金保有率△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	339.7	348.1	395.0	455.6	357.6	372.0
基本金比率△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	99.6	98.6	97.4	97.2

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における私立大学(医歯系法人を除く)の令和4年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い を示している。

3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,836,800千円に対し決算4,829,895,800円で6,904,200円の減額、手数料収入 予算84,600千円に対し決算87,731,490円で3,131,490円の増額、寄付金収入 予算82,200千円に対し決算97,850,384円で15,650,384円の増額、補助金収入 予算1,255,400千円に対し決算1,242,924,677円で12,475,323円の減額、資産売却収入 予算130,000千円に対し決算130,000,000円で増減なし、付随事業・収益事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の利用料、受託・共同研究費の収入、高等学校オアシスの利用料であり、予算250,800千円に対し決算257,540,679円で6,740,679円の増額、受取利息・配当金収入 予算108,900千円に対し決算117,854,531円で8,954,531円の増額、雑収入 予算152,500千円に対し決算184,908,118円で32,408,118円の増額、借入金等収入 予算0円に対し決算0円で増減なし、前受金収入 予算722,500千円に対し決算694,401,700円で28,098,300円の減額、その他の収入 予算1,378,750千円に対し決算1,388,920,711円で10,170,711円の増額、資金収入調整勘定 予算△781,100千円に対し決算△819,285,768円で38,185,768円の減額、前年度繰越支払資金 予算3,331,050千円に対し決算3,331,086,347円となり、収入の部合計 予算11,552,400千円に対し決算11,543,828,669円で8,571,331円の減額となった。

3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算3,651,800千円に対し決算3,658,269,230円で6,469,230円の増額、教育研究経費支出 予算1,910,700千円に対し決算1,797,584,120円で113,115,880円の減額、管理経費支出 予算535,650千円に対し決算506,252,258円で29,397,742円の減額、借入金等利息支出 予算5,300千円に対し決算5,947,625円で647,625円の増額、借入金等返済支出 予算200,000千円に対し決算200,000千円で増減なし、施設関係支出 予算2,202,700千円に対し決算2,202,416,450円で283,550円の減額、尚この支出には、土地支出として保健医療学部新校舎移設計画校地及び農学部グリーンハウスの農地購入費、建物支出として大学LAN機械室エアコン設置工事及び高等学校非常放送設備更新工事、構築物支出としてバス置場のアスファルト舗装工事費、建設仮勘定として保健医療学部新校舎及び第2体育館の建築工事費が計上されている。設備関係支出 予算193,050千円に対し決算190,305,860円で2,744,140円の減額、資産運用支出 予算454,550千円に対し決算457,087,506円で2,537,506円の増額、その他の支出 予算91,700千円に対し決算127,788,417円で36,088,417円の増額、資金支出調整勘定 予算△71,850千円に対し決算△84,823,450円で12,973,450円の減額となり、次年度繰越支払資金 予算2,358,800千円に対し決算2,483,000,653円で124,200,653円の増額となり、支出の部合計 予算11,552,400千円に対し決算11,543,828,669円で8,571,331円の減額となった。

3-8 活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支 教育活動資金収入計6,658,547,148円に対し教育活動資金支出計5,962,105,608円で差引696,441,540円に調整勘定等12,884,792円を加算した結果、教育活動資金収支差額709,326,332円となった。
施設整備等活動による資金収支 施設整備等活動資金収入計42,304,000円に対し施設整備等活動資金支出計2,392,722,310円で差引△2,350,418,310円に調整勘定等△7,009,000円を加算した結果、施設整備等活動資金収支差額△2,357,427,310円となり、小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)が△1,648,100,978円となった。
その他の活動による資金収支 その他の活動資金収入計1,559,387,114円に対しその他の活動資金支出計763,378,375円で差引796,008,739円に調整勘定等4,006,545円を加算した結果、その他の活動資金収支差額800,015,284円となった。
この結果、支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)△848,085,694円を前年度繰越支払資金3,331,086,347円に加算し翌年度繰越支払資金2,483,000,653円となった。

3-9 事業活動収支計算書

教育活動収支 教育活動収入計 予算6,625,200千円に対し決算6,658,547,148円で33,347,148円の増額、教育活動支出計 予算6,718,150千円に対し決算6,583,067,662円で135,082,338円の減額となり教育活動収支差額 予算△92,950千円に対し決算75,479,486円で168,429,486円の増額となった。

教育活動外収支 教育活動外収入計 予算108,900千円に対し決算117,854,531円で8,954,531円の増額、教育活動外支出計 予算5,300千円に対し決算5,947,625円で647,625円の増額となり教育活動外収支差額 予算103,600千円に対し決算111,906,906円で8,306,906円の増額で、経常収支差額 予算10,650千円に対し決算187,386,392円で176,736,392円の増額となった。

特別収支 特別収入計 予算45,700千円に対し決算62,175,447円で16,475,447円の増額、特別支出計 予算24,000千円に対し決算26,546,877円で2,546,877円の増額となり特別収支差額 予算21,700千円に対し決算35,628,570円で13,928,570円の増額となった。

基本金組入前当年度収支差額 予算12,350千円に対し決算223,014,962円で210,664,962円の増額、基本金組入額合計 予算△1,944,700千円に対し決算△1,948,513,687円で3,813,687円の減額となり、当年度収支差額 予算△1,932,350千円に対し決算△1,725,498,725円で206,851,275円の増額、前年度繰越収支差額 予算△5,313,500千円に対し決算△5,313,525,719円で25,719円の減額、翌年度繰越収支差額 予算△7,245,850千円に対し決算△7,039,024,444円で206,825,556円の増額となった。

3-10 貸借対照表

○ 資産の部

固定資産 本年度末16,108,638,133円に対し前年度末15,254,020,831円で854,617,302円の増額、流動資産 本年度末2,604,823,709円に対し前年度末3,445,446,315円で840,622,606円の減額となり、資産の部合計 本年度末18,713,461,842円に対し前年度末18,699,467,146円で13,994,696円の増額となった。

○ 負債の部

固定負債 本年度末540,000,000円に対し前年度末740,000,000円で200,000,000円の減額、流動負債 本年度末1,017,290,863円に対し前年度末1,026,311,129円で9,020,266円の減額であり、負債の部合計 本年度末1,557,290,863円に対し前年度末1,766,311,129円で209,020,266円の減額となった。

○ 純資産の部

基本金 本年度末24,195,195,423円に対し前年度末22,246,681,736円で1,948,513,687円の増額、繰越収支差額 本年度末△7,039,024,444円に対し前年度末△5,313,525,719円で1,725,498,725円の減額であり、純資産の部合計が本年度末17,156,170,979円に対し前年度末16,933,156,017円で223,014,962円の増額となった。この結果、負債及び純資産の部合計本年度末18,713,461,842円に対し前年度末18,699,467,146円で13,994,696円の増額となった。

監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学
理事長 須藤 賢一 殿

令和6年 5月24日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 永井 乙彦



監 事 高橋 永一



私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第8条各号の定めに基づき、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の法人の財産の状況又は理事の業務の執行及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、学校法人の業務の執行、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「柄澤公認会計士事務所」、「兒島公認会計士事務所」と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行、理事の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

所在地

法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1
TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055
URL <https://www.takasaki-u.ac.jp>

薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60
TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501
TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2
TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

農学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町54
TEL 027-388-8390 FAX 027-388-8393

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531
TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855
URL <https://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1
TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180
URL <https://takasaki-u-kinder.com>

クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2
TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860
URL <https://www.kendai-clinic.jp>